

地域コミュニティ_調査事例レポート

目 次

北海道上川郡鷹栖町（全域）	1
1. 鷹栖町の概要	1
三重県名張市青蓮寺・百合丘地区、桔梗が丘地区、名張地区	4
1. 名張市の概要	4
2. 名張市青蓮寺・百合丘地区	5
3. 名張市桔梗が丘地区	7
4. 名張市名張地区	9
鳥取県智頭町山形地区	12
1. 智頭町の概要	12
2. 智頭町山形地区	12
高知県土佐郡土佐町石原地区	15
1. 土佐町の概要	15
2. 土佐町石原地区	15
長崎県西海市大瀬戸町雪浦地区、平戸市度島地区、五島市奥浦地区	18
1. 西海市の概要	18
2. （大瀬戸町）雪浦地区	18
3. 平戸市の概要	21
4. 度島地区	21
5. 五島市の概要	24
6. 奥浦地区	24
参考資料・URL	28

北海道上川郡鷹栖町（全域）

1. 鷹栖町の概要

北海道上川郡鷹栖町は、北海道のほぼ中央、上川支庁管内の中心部に位置し、和寒町、旭川市に隣接している。中心部から JR 旭川駅まで車で約 25 分という利便性の高さをもちながら、自然に囲まれており居住環境に恵まれていることを特徴としている。

品質・収穫量とも道内屈指の稲作、付加価値の高いきゅうりの生産など、もともと北海道上川管内の稲作を基幹とする農業都市として発展してきた。1970 年には都市計画の区域区分を設定し、旭川市を核とする都市圏の人口増加の受け皿となる住宅都市として計画的な市街地整備、住宅供給を進めてきた。2003 年には、鷹栖町土地開発公社の主導による住宅団地の開発整備が行われ、人口増加、住宅建設の盛んな地域となっている。さらに近年の動向として、積極的な企業誘致によって農・商・工一体となった地域複合産業の形成を目指しており、また環境的にも、旭川鷹栖インター、旭川北インターの開通で札幌圏へのアクセスがより容易になっている（以上、「鷹栖町ホームページ」参考）。

小学校数は 2 校、中学校数は 1 校、公民館数は 5 館となっている。

第 1 表 エリア情報（北海道上川郡鷹栖町）

エリア名	北海道上川郡鷹栖町					
	2015年	2010年	増減率	(北海道)	(全国)	
人口(人)	7,018	7,345	▲ 4.5	▲ 2.3	▲ 0.8	
うち15歳未満	1,040	1,159	▲ 10.3	▲ 7.5	▲ 5.5	
15～19歳	362	277	30.7	▲ 7.5	▲ 0.9	
20～24歳	159	176	▲ 9.7	▲ 11.3	▲ 7.1	
25～59歳	2,787	3,157	▲ 11.7	▲ 7.6	▲ 4.5	
60～64歳	544	604	▲ 9.9	▲ 11.0	▲ 15.8	
65～74歳	1,062	949	11.9	14.9	14.3	
75～84歳	750	742	1.1	8.5	9.4	
85歳以上	314	281	11.7	31.3	28.8	
世帯数(世帯)	2,717	2,732	▲ 0.5	0.8	2.9	
人口密度(人/㎢)	50.3	52.7		面積(㎢)	139.42	
	2015年	2010年	北海道	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	30.3	26.8	29.1	24.7	26.6	23.0
うち前期高齢化率	15.1	12.9	14.8	12.5	13.8	11.9
後期高齢化率	15.2	13.9	14.3	12.2	12.8	11.1
小学校数(校)	2					
中学校数(校)	1					
公民館数(館)	5					

(1) 人口

鷹栖町の総人口の推移は、1980年から農家戸数の減少に伴う人口減少から、1991年からの第2次宅地造成期による人口増加に至った。人口増加は宅地造成が落ち着いた2010年(7,553人：住民基本台帳出典)をピークとし、それ以降は現在に至るまで減少を続けている。

平成27年国勢調査によると総人口は7,018人、5年前の7,345人から4ポイント減少している。それぞれの構成比をみると、年少人口が14.8%、生産年齢人口が54.9%、老年人口が30.3%となっており、全国と比べて生産年齢人口が9ポイント少なく、老年人口が7ポイント多い。5年間の推移では北海道や全国と同様に、65歳以上の高齢者層の増加がみられる。したがって、高齢化率は5年間で3ポイント上昇し30.3%を占めている。同比率は全国(26.6%)よりもやや多く、都道府県(29.1%)とほとんど同じである。高齢化率のうち前期高齢化率と後期高齢化率の割合をみると、それぞれ15%を占めているが、この分布は全国と北海道と同様である。15～19歳から20～24歳をコーホートにみると4割(277人→159人)減少している。これは性別にかかわらず高校や大学への進学、卒業後の就職による転出を背景にしていると考えられるが、他方で子育て世代である25～39歳では特に女性のマイホーム購入等を背景とした転入(半数以上は旭川市から)が大きくなっていると考えられる。将来推計について今後も人口減少は継続し、2040年には5,443人(現在から約25%減)、2060年には3,784人(現在から約48%減)になるものと予想されている(鷹栖町2015)。

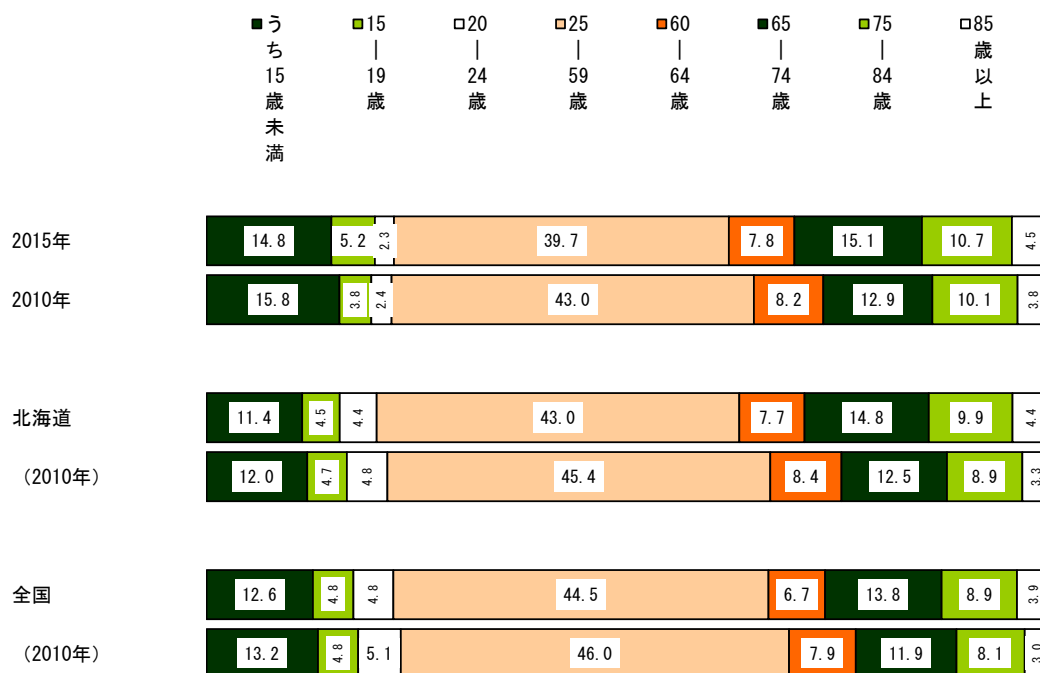
面積は139.42km²で、人口密度が50.3人/km²である。五年前と比べると総人口の減少に伴いわずかに減少がみられる。

世帯数は2,717世帯で、この5年間でほとんど変化はない(以上、第1図、第1表、第2表を参照)。

(2) 産業別就業者数

産業別就業者数をみると、平成27年国勢調査(総数3,347人)では第一次産業が18.8%、第二次産業が13.4%、第三次産業が66.6%をそれぞれ占めており、全国(それぞれ4.0%、25.0%、71.0%)と比べて第一次産業の就業者数が多い。時系列でみると、平成12年国勢調査(総数3,799人)から第一次産業(平成12年国勢調査：27.2%)と第二次産業(同19.2%)は人数および比率が継続的に減少し、他方で第三次産業(同53.1%)は増加している。

第1図 人口構成(北海道上川郡鷹栖町)



第2表 地域人口推計：北海道上川郡鷹栖町

推計対象地域エリア：北海道鷹栖町

留意事項：
コホート変化率法(2010→2015の性・年齢5歳別コホート変化率を活用)による。
100-歳は5年後にはゼロとなることを想定している等、寿命の伸びは考慮していない。
00-04歳人口は、2015年の00-04歳人口の、2015年の15-49歳女性人口に対する比率を適用。
00-04歳人口の男女比は、2015年の比率を適用。
以上のようことから、推計値は相当程度の幅をもって受け止める必要がある。

Table with columns for age groups (00-04 to 75+) and years (2015 to 2065). Rows are categorized by gender (Male/Female) and age group. Data points include population counts and percentages.

(※ 特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク、2018年、『地域コミュニティの新たなあり方検討報告書』『エリアの将来推計人口ワークシート』より作表)

三重県名張市青蓮寺・百合丘地区、桔梗が丘地区、名張地区

1. 名張市の概要

三重県名張市は、県西部に位置し近畿・中部両県の接点にあることから東西往来の要所、宿駅として栄えてきた。中心市街地の周辺に農山村地帯が広がり自然豊かな景観にも恵まれている。昭和に入ると近鉄大阪線が開通し、1963年の桔梗が丘住宅地の造成を始め、大阪都市圏のベッドタウンとして都市化が進行していった。市制発足当時（1954年）に3万人であった人口は、現在では約8万人弱となっている。

詳しく人口推移をみると、戦後から1970年までは約3万人で推移していたがそれ以降は急増期に入っている。平成12年国勢調査時である2000年の83,291人をピークに微減を続けており、現在（平成27年国勢調査）では78,795人となっている。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」の値をみると、総人口は5年ごとに3～5万人と加速度的に減少を続けている。したがって、2030年に7万人を割り、2040年には6.1万人、2045年には5.7万人まで減少する見込みである。

社会増減の傾向については、1988年から1990年をピークに転入者数が大きく減少しはじめ、2000年を境に転出者数が上回り、以降は転出超過が続いている。2001年には約300人、近年では400～500人規模の転出超過となっており、その原因として特に進学、就職、結婚などの機会が多い20代の若年層の転出があげられる。また全体の6割は関西方面への転出である（名張市2016）。

産業別就業者数は、平成27年国勢調査（総数37,400人）では第一次産業が2.5%、第二次産業が33.2%、第三次産業が64.3%をそれぞれ占めており、全国と比べて第二次産業の就業者数がやや多い。総人口がピークに達した平成12年国勢調査（総数40,030人）からの推移をみると、第一次産業（平成12年国勢調査：2.8%）と第二次産業（同35.5%）に減少、第三次産業（同61.8%）に増加がわずかにみられるが、全国の推移と比べると変動幅は大きくはない。

なお、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」（以下、「社人研将来推計人口（平成30年推計）」と表記）には町丁・字等別にとったデータが存在しないため、以下では特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワークの『地域コミュニティの新たなあり方検討報告書』「エリアの将来推計人口ワークシート」（以下、「地域ケア推計人口」と表記）による人口推計値を用いる。

2. 名張市青蓮寺・百合丘地区

国勢調査によると、青蓮寺・百合丘地区の総人口は2015年時点6,980人で、5年前(6,972人)と変わらない。人口分布は年少人口が13.2%、生産年齢人口が61.9%、老年人口が24.9%で全国と同様の分布状況である。人口構成を5年前と比べると、総人口が横ばいであるのに対し20代前半層が減少し、65歳以上の高齢者層が増加している。そのうち前期高齢化率の増加が4ポイントとやや多い。そのほか15～19歳から20～24歳をコーホートにみても3割(429人→299人)減少している。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は加速度的に減少していき、2030年には6,473人、2040年には5,751人、2050年には4,921人まで減少する。2050年の人口分布は、年少人口が9.5%、生産年齢人口が51.4%、老年人口が39.1%と見込まれている。

面積は14.97km²で、人口密度が466.3人/km²である。

世帯数は2,447世帯で5年前(2,344世帯)から103世帯増加、増減率は4.4%で全国や三重県と比べてわずかに多い。

産業別就業者数は、平成27年国勢調査(総数3,205人)によると、第一次産業が2.1%、第二次産業が28.5%、第三次産業が69.4%をそれぞれ占めており、全国と比べて第二次産業の就業者数がやや多い。

小学校が1校と公民館が1館あり、中学校は存在しない。(以上、第3表、第2図、第4表を参照)

第3表 エリア情報(三重県名張市青蓮寺・百合丘地区)

エリア名	三重県名張市青蓮寺・百合丘地区
------	-----------------

	2015年	2010年	増減率	(三重県)	(全国)
人口(人)	6,980	6,972	0.1	▲ 2.1	▲ 0.8
うち15歳未満	920	996	▲ 7.6	▲ 7.8	▲ 5.5
15～19歳	470	429	9.6	▲ 1.4	▲ 0.9
20～24歳	299	378	▲ 20.9	▲ 9.1	▲ 7.1
25～59歳	2,911	3,199	▲ 9.0	▲ 5.7	▲ 4.5
60～64歳	638	600	6.3	▲ 17.0	▲ 15.8
65～74歳	984	685	43.6	12.6	14.3
75～84歳	486	492	▲ 1.2	4.8	9.4
85歳以上	267	188	42.0	30.0	28.8
世帯数(世帯)	2,447	2,344	4.4	2.2	2.9

人口密度(人/km ²)	466.3	465.7	面積(km ²)	14.97
--------------------------	-------	-------	----------------------	-------

	2015年	2010年	三重県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	24.9	19.6	27.9	24.3	26.6	23.0
うち前期高齢化率	14.1	9.8	14.2	12.3	13.8	11.9
後期高齢化率	10.8	9.8	13.7	12.0	12.8	11.1

小学校数(校)	1
中学校数(校)	0
公民館数(館)	1

3. 名張市桔梗が丘地区

国勢調査によると、桔梗が丘地区の総人口は2015年時点13,331人で、5年前（13,413人）から大きな変化はない。人口分布は年少人口が14.9%、生産年齢人口が54.7%、老年人口が30.4%である。全国と比べると生産年齢人口が少なく老年人口が多い。高齢化率は30.4%にのぼり、そのうち18.3%を前期高齢化率が占めている。また人口構成を5年前と比べても、総人口が横ばいで推移しているのに対して、65歳以上の高齢者層の増加が目立つ。そのほか、15～19歳から20～24歳をコーホートにみても3割（638人→440人）減少している。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は2020年には13,069人だが、以降減少幅が広がり2035年には11,083人、2045年には9,730人となり一万人を割っている。2050年の人口分布は、年少人口が13.6%、生産年齢人口が53.2%、老年人口が33.2%と見込まれている。

面積は3.14km²で、人口密度が4245.5人/km²である。

世帯数は5,179世帯で5年前（5,071世帯）から108世帯増加、増減率は2.1%である。

産業別就業者数は、平成27年国勢調査（総数5,677人）によると、第一次産業が1.0%、第二次産業が32.0%、第三次産業が67.0%をそれぞれ占めており、全国と比べて第二次産業の就業者数が多い。

小学校数は3校、中学校が1校、公民館数は2校である（以上、第5表、第2図、第6表を参照）。

第5表 エリア情報（三重県名張市桔梗が丘地区）

エリア名	三重県名張市桔梗が丘地区					
	2015年	2010年	増減率	(三重県)	(全国)	
人口(人)	13,331	13,413	▲ 0.6	▲ 2.1	▲ 0.8	
うち15歳未満	1,987	1,919	3.5	▲ 7.8	▲ 5.5	
15～19歳	594	638	▲ 6.9	▲ 1.4	▲ 0.9	
20～24歳	440	444	▲ 0.9	▲ 9.1	▲ 7.1	
25～59歳	5,267	5,706	▲ 7.7	▲ 5.7	▲ 4.5	
60～64歳	977	1,330	▲ 26.5	▲ 17.0	▲ 15.8	
65～74歳	2,439	2,096	16.4	12.6	14.3	
75～84歳	1,236	989	25.0	4.8	9.4	
85歳以上	375	279	34.4	30.0	28.8	
世帯数(世帯)	5,179	5,071	2.1	2.2	2.9	
人口密度(人/km ²)	4245.5	4271.7	面積(km ²) 3.14			
	2015年	2010年	三重県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	30.4	25.1	27.9	24.3	26.6	23.0
うち前期高齢化率	18.3	15.6	14.2	12.3	13.8	11.9
後期高齢化率	12.1	9.5	13.7	12.0	12.8	11.1
小学校数(校)	3					
中学校数(校)	1					
公民館数(館)	2					

4. 名張市名張地区

国勢調査によると、名張地区の総人口は2015年時点6,228人で、5年前(6,530人)からおよそ300人の減少がみられる。人口分布は年少人口が9.1%、生産年齢人口が55.8%、老年人口が35.1%である。全国および三重県と比べると、生産年齢人口が少なく老年人口が多い。そのほか、15～19歳から20～24歳をコーホートにみると、上記の同自治体地区とは異なり減少はみられない(247人→273人)。地域特性として就職、結婚等による若年層の転入超過が生じていることが推測される。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は5年ごとに400人程度減少を続け、2030年に5,064人、2045年に3,979人まで減少する。2050年の人口分布は、年少人口が6.8%、生産年齢人口が60.9%、老年人口が25.9%と見込まれている。

面積は2.90km²で、人口密度が2147.6人/km²である。

世帯数は3,017世帯で5年前(2,917世帯)から100世帯増加、増減率は3.4%である。

産業別就業者数は、平成27年国勢調査(総数2,909人)によると、第一次産業が1.5%、第二次産業が29.3%、第三次産業が69.2%をそれぞれ占めており、全国と比べて第二次産業の就業者数が多い。

小学校数及び中学校数は1校、公民館数は1館である(以上、第7表、第2図、第8表を参照)。

第8表 地域人口推計：三重県名張市名張地区

第7表 エリア情報(三重県名張市名張地区)

エリア名	三重県名張市名張地区				
------	------------	--	--	--	--

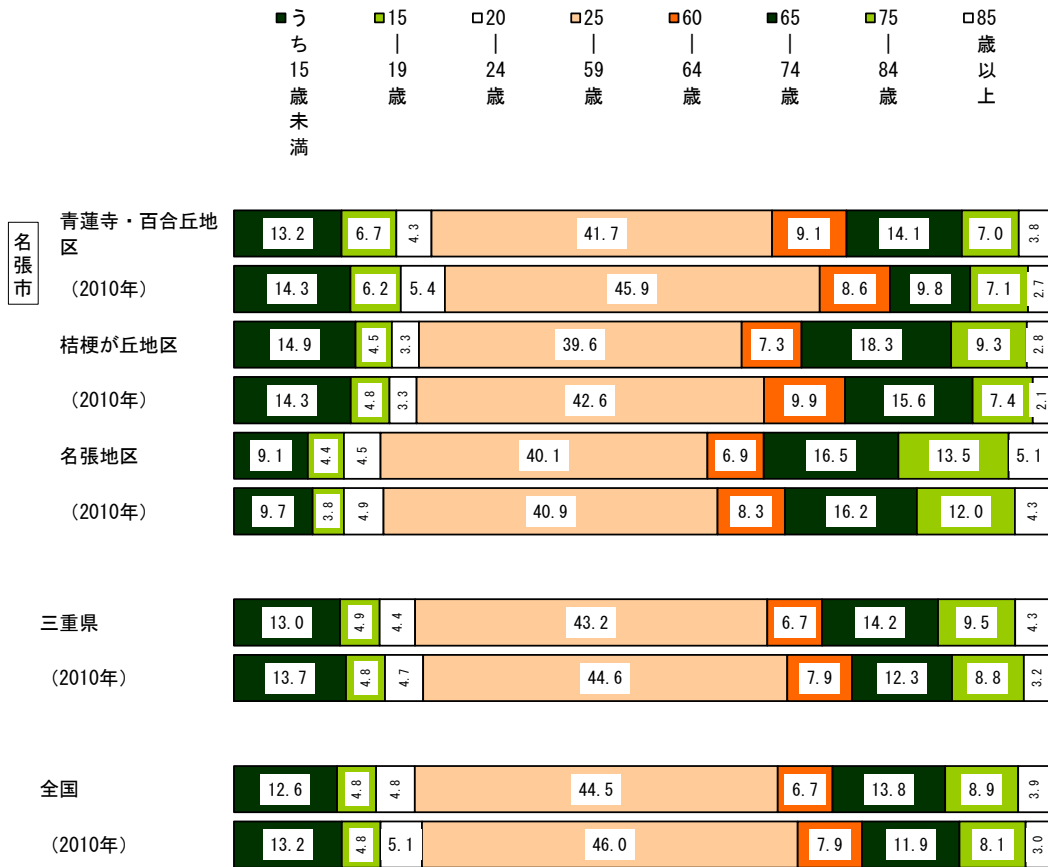
	2015年	2010年	増減率	(三重県)	(全国)
人口(人)	6,228	6,530	▲ 4.6	▲ 2.1	▲ 0.8
うち15歳未満	556	625	▲ 11.0	▲ 7.8	▲ 5.5
15～19歳	270	247	9.3	▲ 1.4	▲ 0.9
20～24歳	273	315	▲ 13.3	▲ 9.1	▲ 7.1
25～59歳	2,451	2,645	▲ 7.3	▲ 5.7	▲ 4.5
60～64歳	422	534	▲ 21.0	▲ 17.0	▲ 15.8
65～74歳	1,010	1,046	▲ 3.4	12.6	14.3
75～84歳	827	777	6.4	4.8	9.4
85歳以上	309	277	11.6	30.0	28.8
世帯数(世帯)	3,017	2,917	3.4	2.2	2.9

人口密度(人/km ²)	2147.6	2251.7	面積(km ²)	2.9
--------------------------	--------	--------	----------------------	-----

	2015年	2010年	三重県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	34.5	32.2	27.9	24.3	26.6	23.0
うち前期高齢化率	16.2	16.0	14.2	12.3	13.8	11.9
後期高齢化率	18.2	16.1	13.7	12.0	12.8	11.1

小学校数(校)	1
中学校数(校)	1
公民館数(館)	1

第2図 人口構成（三重県名張市青蓮寺・百合丘地区、桔梗が丘地区、名張地区）



鳥取県智頭町山形地区

1. 智頭町の概要

鳥取県智頭町は県の東南に位置し、総面積の93%を山林が占める。林業や農業、木工業、酒造業、そして観光業が主たる産業となっている。林業については、吉野や北山に並ぶ歴史ある林業地として全国的に高い評価を受けており、森林を生かした産業振興にも活用が期待される(智頭町企画課 2017)。

国勢調査から人口推移をみると、戦後(1950年)の1.5万人近くから1975年までに1.2万人を割り込み、以降も減少傾向は続いている。2015年(平成27年国勢調査)では7,154人と、40年間で約5千人減少している。また人口構成比をみると、1980年には20%だった年少人口が2015年に10%まで減少している。他方で、高齢人口は15%(1980年)から39%(2015年)まで増加している。

社人研将来推計人口(平成30年推計)によれば、総人口は2015年の値から5年ごとにおよそ600~700人の減少を続ける。したがって2025年に6千人、2035年に5千人をそれぞれ割り込み、2045年時点で3,310人まで減少する見込みである。

人口動向については、1996年以降、自然減少と社会減少が続き、合わせて毎年100~200人を計上している。自然増減の動向について、減少の主な要因は出生数の減少である。若年人口の減少に併せて、2014年時点で30~34歳の未婚率が全国平均を上回っていることから、晩婚化、未婚化に起因した出生数の減少であると推測される。社会減少の動向については転出超過が主要因である。15~19歳人口や20~24歳人口が5年後に転出するケースは全国平均に比べて多くみられ、前者は進学および就職、後者は就職もしくは結婚による転出であると推測される。(鳥取県智頭町 2015)。

産業別就業者数は、平成27年国勢調査(総数3,383人)では第一次産業が11.7%、第二次産業が33.1%、第三次産業が55.2%をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業および第二次産業の就業者の割合が多い。

2. 智頭町山形地区

国勢調査によると、山形地区の総人口は2015年時点1,359人で、5年前(1,568人)から約200人減少している。人口分布は年少人口が8.6%、生産年齢人口が51.2%、老年人口が40.2%で全国と比べて年少人口および生産年齢人口が少ない。高齢化率は40.2%にのぼり、そのうち前期高齢化率が14.7%、後期高齢化率が25.5%である。全国および鳥取県と比べても、後期高齢化率がそれぞれ10~13ポイント上回っている。人口構成を5年前と比べると、総人口の減少が15歳から59歳までのおよそ生産年齢人口が主に減少している。そのほか、15~19歳から20~24歳をコーホートにみても半数近く(66人→36人)減少している。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は2030年までは5年ごとに200人程度減少を続けるが、それ以降は減少速度がやや落ちていく。2025年には958人、2030年に791人となっている。2050年の人口分布は、年少人口が6.3%、生産年齢人口が38.9%、老年人口が54.7%と見込まれている。2015年時点と比べると、生産年齢人口と老年人口の比率が逆転している。

面積は75.0km²で、人口密度が18.1人/km²である。世帯数は487世帯である。5年前と比べると、全国や鳥取県では微増しているが、山形地区では39世帯(7.4ポイント)減少している。

産業別就業者数は平成27年国勢調査(総数645人)によると、第一次産業が9.3%、第二次産業が33.5%、第三次産業が57.2%を占めており、全国と比べて第一次産業と第二次産業の就業者数が多い。

小学校、中学校は存在しない。公民館数は2館である(以上、第9表、第3図、第10表参照)。

第 10 表 エリア情報（鳥取県智頭町山形地区）

エリア名	鳥取県智頭町山形地区
------	------------

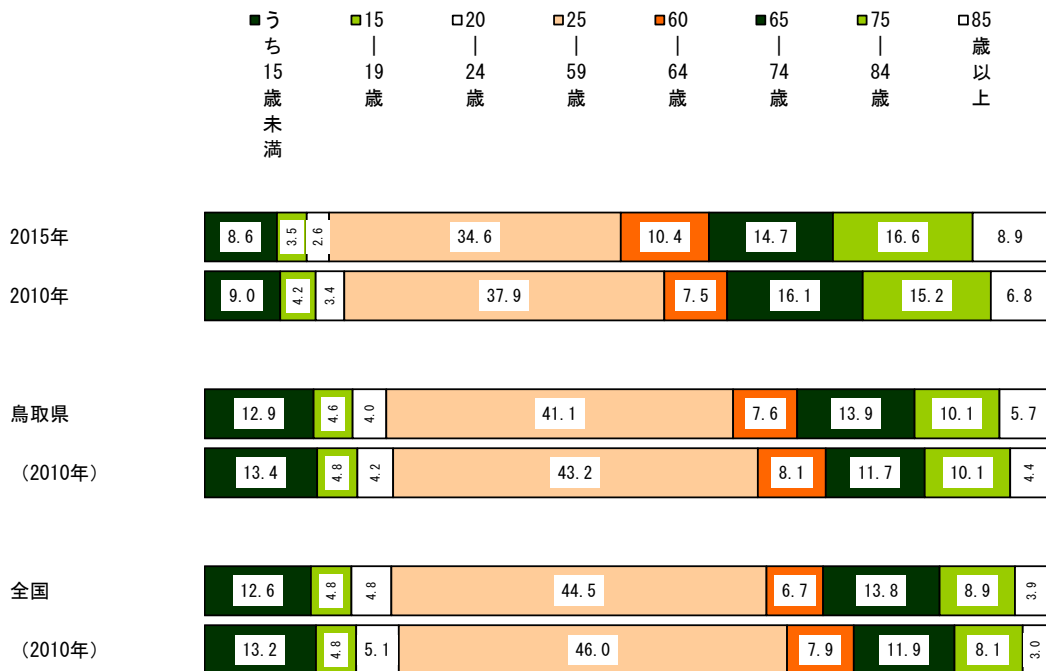
	2015年	2010年	増減率	(鳥取県)	(全国)
人口(人)	1,359	1,568	▲ 13.3	▲ 2.6	▲ 0.8
うち15歳未満	117	141	▲ 17.0	▲ 5.5	▲ 5.5
15～19歳	48	66	▲ 27.3	▲ 5.3	▲ 0.9
20～24歳	36	53	▲ 32.1	▲ 8.8	▲ 7.1
25～59歳	470	595	▲ 21.0	▲ 7.2	▲ 4.5
60～64歳	142	117	21.4	▲ 8.3	▲ 15.8
65～74歳	200	252	▲ 20.6	15.7	14.3
75～84歳	225	238	▲ 5.5	▲ 3.1	9.4
85歳以上	121	106	14.2	25.3	28.8
世帯数(世帯)	487	526	▲ 7.4	2.3	2.9

人口密度(人/km ²)	18.1	20.9	面積(km ²)	75
--------------------------	------	------	----------------------	----

	2015年	2010年	鳥取県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	40.2	38.0	29.7	26.3	26.6	23.0
うち前期高齢化率	14.7	16.1	13.9	11.7	13.8	11.9
後期高齢化率	25.5	21.9	15.8	14.6	12.8	11.1

小学校数(校)	0
中学校数(校)	0
公民館数(館)	2

第 3 図 人口構成（鳥取県智頭町山形地区）



高知県土佐郡土佐町石原地区

1. 土佐町の概要

高知県土佐郡土佐町は、県北部、四国のほぼ中央の標高 300～500m に位置しており、総面積の 87% が山林で占められ、中山間地域が広がっている。町の東西に吉野川が流れており、その上流には早明浦ダムが 1973 年に建設され、それ以降中島地区中心に市街地が開かれた。当時の本山町の一部が 1961 年（昭和 36 年）に編入合併し、町制の施行は 1970 年（昭和 45 年）に開始されている（土佐町 2014）。

国勢調査から人口推移をみると、1965 年の 8,470 人が 10 年後の 1975 年には 6,679 人まで大幅に減少し、それ以降は毎年 300 人程度の緩やかな減少傾向が続いている。2015 年では 3,997 人となっている。また人口構成比をみると、1980 年には 20% だった年少人口が 2015 年に 10% まで減少している。他方で、高齢人口は 15%（1980 年）から 39%（2015 年）まで増加している。

社人研将来推計人口（平成 30 年推計）によれば、総人口は 2015 年から 5 年ごとにおよそ 200～300 人の減少を続ける。したがって 2030 年に 3,074 人、2040 年には 2,564 人まで減少する見込みである。

人口動向について 1995 年以降をみると、自然増減の推移は高齢化と少子化により 30～70 程度の減少が継続しているが、死亡数の増加により自然減の進行が見込まれる。社会増減の推移は、転入数の減少傾向と転出数の減少傾向が継続している。結果的に、社会減の幅は年毎の変動はみられるものの、縮小傾向にある。これらは進学や就職にあたる世代の年少人口および若年の生産年齢人口の減少によって転入、転出がともに収束しつつあるためと考えられる（土佐町 2015）。

産業別就業者数は、平成 27 年国勢調査（総数 1,976 人）では第一次産業が 25.2%、第二次産業が 17.8%、第三次産業が 57.0% をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業就業者の割合が 21 ポイント多く、第二次産業および第三次産業が少ない。

2. 土佐町石原地区

国勢調査によると、石原地区の総人口は 2015 年時点 330 人で、5 年前（359 人）から 29 人減少している。人口分布は年少人口が 9.1%、生産年齢人口が 42.1%、老年人口が 48.8% である。全国と比べると生産年齢人口が 18 ポイント少なく、老年人口が 22 ポイント高い。高齢化率のうち、前期高齢化率は 19.1%、後期高齢化率は 29.7% で、全国および高知県と比べて後期高齢化率の占める比率が高い。人口構成を 5 年前と比べてもあまり変わらず、高齢化率も高止まりしている。そのほか、15～19 歳から 20～24 歳をコーホートは、件数が少ないが減少（5 人→1 人）がみられ、社会移動による若年層の減少が背景としてうかがえる。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は 2035 年までは 5 年ごとに 40 人程度減少を続けている。したがって、2030 年には 203 人、2045 年に 109 人となっている。2050 年の人口分布をみると、生産年齢人口が 2 割、老年人口が 8 割と見込まれている。

面積は 28.56 km² で、人口密度が 11.6 人/km² である。世帯数は 149 世帯である。5 年前と比べると、全国での微増（2.9 ポイント増）に対し、石原地区では 16 世帯、9.7 ポイント減少している。

産業別就業者数は、平成 27 年国勢調査（総数 177 人）によると、第一次産業が 43.8%、第二次産業が 17.0%、第三次産業が 39.2% をそれぞれ占めており、全国また高知県と比べても第一次産業就業者の割合が多く、第三次産業が少ない。

小学校、中学校は存在しない。公民館数は 2 館である（以上、第 11 表、第 4 図、第 12 表参照）。

第 12 表 エリア情報（高知県土佐郡土佐町石原地区）

エリア名	高知県土佐郡土佐町石原地区
------	---------------

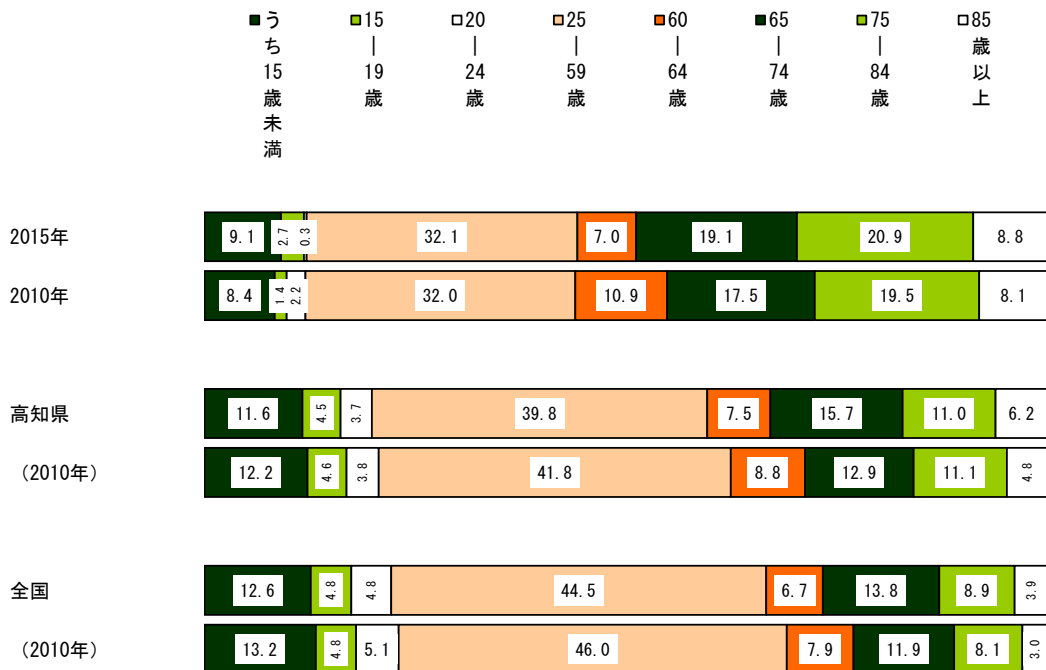
	2015年	2010年	増減率	(高知県)	(全国)
人口(人)	330	359	▲ 8.1	▲ 4.7	▲ 0.8
うち15歳未満	30	30	0.0	▲ 9.6	▲ 5.5
15～19歳	9	5	80.0	▲ 6.6	▲ 0.9
20～24歳	1	8	▲ 87.5	▲ 8.2	▲ 7.1
25～59歳	106	115	▲ 7.8	▲ 9.3	▲ 4.5
60～64歳	23	39	▲ 41.0	▲ 19.0	▲ 15.8
65～74歳	63	63	0.0	15.7	14.3
75～84歳	69	70	▲ 1.4	▲ 5.3	9.4
85歳以上	29	29	0.0	22.0	28.8
世帯数(世帯)	149	165	▲ 9.7	▲ 0.9	2.9

人口密度(人/㎢)	11.6	12.6	面積(㎢)	28.56
-----------	------	------	-------	-------

	2015年	2010年	高知県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	48.8	45.1	32.8	28.8	26.6	23.0
うち前期高齢化率	19.1	17.5	15.7	12.9	13.8	11.9
後期高齢化率	29.7	27.6	17.2	15.9	12.8	11.1

小学校数(校)	0
中学校数(校)	0
公民館数(館)	2

第 4 図 人口構成（高知県土佐郡土佐町石原地区）



第 13 表 地域人口推計：高知県土佐郡土佐町石原地区

年齢	2015		2020		2025		2030		2035		2040		2045		2050		2055		2060		2065	
	男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
00-04	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
05-09	10	4	6	10	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10-14	12	6	11	5	6	11	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15-19	9	5	4	12	8	11	3	8	11	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20-24	1	1	0	2	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25-29	5	3	2	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30-34	7	6	1	5	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35-39	7	5	2	11	10	1	8	8	0	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0
40-44	22	10	12	8	5	3	11	10	1	8	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0
45-49	20	11	9	25	11	14	9	6	3	13	11	2	8	8	0	2	0	2	0	2	0	0
50-54	22	15	7	20	11	9	25	11	14	9	6	3	13	11	2	8	8	0	2	0	2	0
55-59	23	11	12	21	14	7	19	10	9	24	10	14	8	5	3	12	10	2	8	8	0	2
60-64	23	14	9	23	11	12	21	14	7	20	10	14	8	5	3	12	10	2	8	8	0	2
65-69	40	20	23	14	9	24	11	13	21	14	7	20	10	14	8	5	3	12	10	2	8	8
70-74	23	10	13	39	20	19	23	14	9	23	11	12	21	14	7	19	10	13	8	5	3	12
75-79	36	21	15	21	9	12	36	18	17	21	13	8	21	10	11	19	13	6	17	9	8	22
80-84	33	8	25	28	17	13	17	7	10	29	15	15	17	10	7	17	8	9	15	10	5	14
85-89	18	7	11	22	4	18	7	8	9	11	3	7	17	7	11	10	5	5	10	4	7	9
90-94	8	3	5	8	4	5	10	2	8	8	4	4	5	2	3	8	3	4	4	2	2	5
95-99	2	0	2	1	0	1	0	1	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
100-	1	0	1	2	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
年齢計	330	163	167	292	148	144	245	129	116	203	111	91	162	94	68	134	80	55	109	67	42	87
00-14	30	13	17	21	9	12	11	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15-64	139	81	58	125	72	53	106	64	42	87	52	35	59	41	18	35	31	5	28	26	2	17
65-	161	69	92	146	67	78	129	60	69	116	59	56	103	53	50	99	49	50	81	41	41	70
(再編)75-	98	39	59	84	33	50	82	35	47	72	35	37	63	29	34	56	29	27	50	25	25	51
00-14	9.1%	8.0%	10.2%	5.9%	8.4%	3.7%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15-64	42.1%	49.7%	34.7%	43.0%	48.8%	37.0%	43.2%	49.8%	36.0%	42.9%	46.6%	38.3%	36.4%	48.9%	26.3%	38.7%	8.2%	25.5%	38.4%	3.5%	19.4%	30.6%
65-	48.8%	42.3%	55.1%	49.9%	45.3%	54.6%	52.4%	46.7%	58.8%	61.7%	63.6%	56.1%	63.6%	56.1%	73.7%	61.3%	91.8%	74.5%	60.6%	96.5%	80.6%	69.4%
(再編)75-	29.7%	23.9%	35.3%	28.6%	22.4%	35.1%	33.3%	27.3%	40.4%	35.5%	31.2%	41.8%	38.8%	30.7%	49.9%	41.8%	36.0%	49.6%	45.7%	57.9%	58.1%	41.9%
男女計	14.9%	18.9%	85.1%	100.0%	77.9%	77.9%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%	79.3%
男性	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(※ 特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク、2018年、『地域コミュニティの新たなあり方検討報告書』『エリアの将来推計人口ワークシート』より作表)

長崎県西海市大瀬戸町雪浦地区、平戸市度島地区、五島市奥浦地区

1. 西海市の概要

西海市は、西彼杵半島北部の西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町から構成され、長崎市と佐世保市との中間に位置している。半島部の東岸は大村湾に、西岸は五島灘、角力灘に面し、崎戸町の江島、平島、大瀬戸町の松島などの島々を有している。また、丘陵起伏が続く地形といった自然景観を有する西海国立公園、大村湾県立公園、西彼杵半島県立公園は自然公園に指定されている。総面積は242.01㎥で、民有地の区別面積の割合は山林が45.7%と最も多く、次いで田畑36.1%、原野9.5%、宅地5.0%が続いている。町制の施行については、2005年（平成17年）に5町が対等合併し現在の西海市に至る（西海市市役所2017）。

平成27年国勢調査によると総人口は28,691人、5年前（平成22年国勢調査）の31,176人から比率で8ポイント減少している。人口の構成比をみると、年少人口が11.4%、生産年齢人口が53.6%、老年人口が35.0%となっており、全国と比べて生産年齢人口が7ポイント少なく、老年人口が8ポイント多い。5年間の推移では、全体の人口減少に応じて全体的な減少がみられるが、なかでも生産年齢人口の減少が目立ち、結果的に老年人口の占める割合が高くなっている。高齢化率は5年間で3ポイント上昇しており、全国（26.6%）よりもやや多く、長崎県（29.6%）と変わらない。高齢化率のうち前期高齢化率と後期高齢化率の比率をみると、それぞれ15.1%、19.9%を占めているが、全国や長崎県と比べるとやや後期高齢化率が高くなっている。

社人研将来推計人口（平成30年推計）によれば、総人口は2015年の値から5年ごとにおよそ2,000人の減少を続ける。したがって2035年に2万人を割り込み、2045年には15,801人まで減少する見込みである。

産業別就業者数は、平成27年国勢調査（総数13,934人）では第一次産業が17.0%、第二次産業が30.0%、第三次産業が53.0%をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業就業者の割合が13ポイント多く、第三次産業が18ポイント少ない。

2. （大瀬戸町）雪浦地区

国勢調査によると、雪浦地区の総人口は2015年時点1,688人で、5年前（1,869人）から200人近く減少している。人口分布は年少人口が8.7%、生産年齢人口が51.2%、老年人口が40.1%で全国や長崎県と比べて生産年齢人口の割合が少なく、老年人口が多い。人口構成を5年前と比べると、60歳未満の層で全体的に減少しており、60歳以上の高齢者層ではおおむね増加している。高齢化率について、前期高齢化率が16.6%、後期高齢化率が22.9%となっており、長崎県や全国と比べて特に後者の比率が多い。そのほか、15～19歳から20～24歳をコーホートにみても4割（82人→49人）減少している。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は2050年まで5年ごとに150人程度減少を続けている。2030年には1,247人、2040年に948人、2050年に674人となっている。2050年の人口分布は、年少人口が13.4%、生産年齢人口が41.7%、老年人口が44.9%と見込まれている。2015年時点と比べると、年少人口と老年人口の比率が微増し生産年齢人口が10ポイント近く減少している。

面積は36㎥で、人口密度が46.9人/㎥である。世帯数は671世帯で5年前（698世帯）から27世帯、3.9ポイントの減少である。全体の人口が減少しながらも世帯数は微増している全国や横ばいの長崎県とは異なる傾向をみせている。

産業別就業者数は、平成 27 年国勢調査（総数 809 人）によると、第一次産業が 10.6%、第二次産業が 25.7%、第三次産業が 63.7%をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業の就業者数がやや多く、第三次産業が少ない。

小学校が 1 校と公民館が 1 館あり、中学校は存在しない（以上、第 13 表、第 5 図、第 14 表を参照）。

第 14 表 エリア情報（長崎県西海市大瀬戸町雪浦地区）

エリア名	長崎県西海市大瀬戸町雪浦地区					
	2015年	2010年	増減率	(長崎県)	(全国)	
人口(人)	1,688	1,869	▲ 9.7	▲ 3.5	▲ 0.8	
うち15歳未満	144	162	▲ 11.1	▲ 8.2	▲ 5.5	
15～19歳	50	82	▲ 39.0	▲ 8.7	▲ 0.9	
20～24歳	49	65	▲ 24.6	▲ 7.6	▲ 7.1	
25～59歳	579	714	▲ 18.9	▲ 9.3	▲ 4.5	
60～64歳	173	151	14.6	▲ 4.3	▲ 15.8	
65～74歳	280	257	8.9	12.6	14.3	
75～84歳	247	310	▲ 20.3	0.0	9.4	
85歳以上	140	128	9.4	24.1	28.8	
世帯数(世帯)	671	698	▲ 3.9	0.4	2.9	
人口密度(人/㎢)	46.9	51.9				
			面積(㎢)		36	
	2015年	2010年	長崎県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	39.5	37.2	29.6	26.0	26.6	23.0
うち前期高齢化率	16.6	13.8	14.1	12.0	13.8	11.9
後期高齢化率	22.9	23.4	15.6	14.0	12.8	11.1
小学校数(校)	1					
中学校数(校)	0					
公民館数(館)	1					

3. 平戸市の概要

平戸市は、九州本土の西北端、平戸瀬戸を隔てて南北に細長く横たわる平戸島と、その周辺に点在する大小およそ 40 の島から構成されている。市制については、2005 年（平成 17 年）に 1 市 2 町 1 村が合併して誕生した。

平成 27 年国勢調査によると総人口は 31,920 人、5 年前（平成 22 年国勢調査）の 34,905 人から比率で 9 ポイント減少している。人口の構成比をみると、年少人口が 11.7%、生産年齢人口が 51.0%、老年人口が 37.3%となっており、全国と比べて生産年齢人口が 10 ポイント少なく、老年人口が 11 ポイント多い。またこれらは長崎県と比べても同様の傾向をみせる。人口構成比率について 5 年間の推移をみると、生産年齢人口が微減する一方で、老年人口が微増している。また年少人口や生産年齢人口が減少し、老年人口が上昇しているトレンドはこの 30 年間変わらない。高齢化率は 5 年間で 4 ポイント増加しており、そのうち前期高齢化率と後期高齢化率の割合をみると、それぞれ 16.1%、21.2%を占めており、全国や長崎県と比べて後期高齢化率が高くなっている（平戸市 2016、同 2018）。

社人研将来推計人口（平成 30 年推計）によれば、総人口は 2015 年の値から 5 年ごとに 3,000 人前後の減少を続ける。したがって 2025 年に 25,964 人、2035 年に 20,430 人、2045 年には 15,440 人まで減少する見込みである。

産業別就業者数は、平成 27 年国勢調査（総数 15,031 人）では第一次産業が 20.0%、第二次産業が 18.3%、第三次産業が 61.7%をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業就業者の割合が 16 ポイント多く、第二次産業、第三次産業が少ない。

4. 度島地区

国勢調査によると、雪浦地区の総人口は 2015 年時点 701 人で、5 年前（828 人）から 127 人、15 ポイント減少している。人口分布は年少人口が 14.7%、生産年齢人口が 54.4%、老年人口が 31.0%で、全国と比べると、4~6 ポイントとわずかながら生産年齢人口の割合が少なく老年人口が多い。人口構成を 5 年前と比べると、60 歳未満の層で全体的に減少している。高齢化率について、前期高齢化率が 13.1%、後期高齢化率が 17.8%となっており、長崎県とあまり変わらないが、全国と比べると後者の比率が高くなっている。そのほか、15~19 歳から 20~24 歳をコーホートにみってみると母数が少ないものの減少幅が 5 割（39 人→20 人）にのぼる。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は 5 年ごとに 50~100 人程度の減少を続けるが、減少速度は年ごとに緩やかになっている。2025 年には 605 人、2030 年に 440 人、2040 年に 303 人となっている。2050 年の人口分布は、年少人口が 12.6%、生産年齢人口が 35.8%、老年人口が 51.7%と見込まれている。2015 年時点と比べると、生産年齢人口と老年人口の比率が逆転している。

面積は 3.6 km²で、人口密度が 194.7 人/km²である。世帯数は 227 世帯で 5 年前（253 世帯）から 26 世帯、10.3 ポイントの減少である。全体の人口が減少しながらも世帯数は微増している全国や横ばいの長崎県とは異なる傾向をみせている。

産業別就業者数は、平成 27 年国勢調査（総数 287 人）によると、第一次産業が 35.2%、第二次産業が 5.9%、第三次産業が 58.9%をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業が 31 ポイント多く、そのほかは少ない。

小中学校が 1 校と公民館が 3 館ある（以上、第 15 表、第 5 図、第 16 表を参照）。

第 16 表 エリア情報（長崎県平戸市度島地区）

エリア名	長崎県平戸市度島地区
------	------------

	2015年	2010年	増減率	(長崎県)	(全国)
人口(人)	701	828	▲ 15.3	▲ 3.5	▲ 0.8
うち15歳未満	103	139	▲ 25.9	▲ 8.2	▲ 5.5
15～19歳	21	39	▲ 46.2	▲ 8.7	▲ 0.9
20～24歳	20	15	33.3	▲ 7.6	▲ 7.1
25～59歳	274	351	▲ 21.9	▲ 9.3	▲ 4.5
60～64歳	66	52	26.9	▲ 4.3	▲ 15.8
65～74歳	92	113	▲ 18.6	12.6	14.3
75～84歳	93	92	1.1	0.0	9.4
85歳以上	32	27	18.5	24.1	28.8
世帯数(世帯)	227	253	▲ 10.3	0.4	2.9

人口密度(人/㎢)	194.7	230.0	面積(㎢)	3.6
-----------	-------	-------	-------	-----

	2015年	2010年	長崎県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	31.0	28.0	29.6	26.0	26.6	23.0
うち前期高齢化率	13.1	13.6	14.1	12.0	13.8	11.9
後期高齢化率	17.8	14.4	15.6	14.0	12.8	11.1

小学校数(校)	1(小中学校)
中学校数(校)	1(小中学校)
公民館数(館)	3

第 17 表 地域人口推計：長崎県平戸市度島地区

年齢層	2015		2020		2025		2030		2035		2040		2045		2050		2055		2060		2065															
	男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計															
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性														
00-04	33	16	17	26	13	20	10	15	7	8	13	6	7	4	4	6	3	3	5	2	3	4	2	2	4	2	4									
05-09	25	15	10	35	16	19	12	15	21	10	11	16	7	9	12	5	8	4	6	3	3	5	2	3	5	2	3									
10-14	45	26	19	22	13	9	31	14	17	24	11	13	19	9	10	14	7	8	12	6	7	11	5	6	7	3	4	6	3	3	5	2	3			
15-19	21	10	11	14	7	7	4	4	11	4	4	7	8	3	5	6	2	4	5	2	3	4	1	2	3	4	1	2	2	1	1	2	1	1		
20-24	20	14	6	13	10	3	9	7	2	4	4	1	5	4	2	4	3	1	3	2	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0		
25-29	16	10	6	24	12	14	8	5	9	6	4	5	3	2	6	3	3	4	2	3	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
30-34	20	12	8	15	6	23	11	12	13	8	5	4	5	9	5	4	5	3	2	6	3	3	2	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	1	1	
35-39	34	15	19	11	8	15	9	6	22	10	12	7	5	9	5	4	4	3	2	6	3	3	5	2	3	4	2	3	4	2	3	1	1	1	1	
40-44	44	27	17	34	14	20	19	10	9	14	8	6	22	9	13	12	6	6	8	5	4	4	4	2	2	2	6	3	3	5	2	3	4	2	2	
45-49	48	23	25	40	25	15	30	12	18	17	9	8	13	7	6	20	8	11	11	6	5	8	4	3	4	3	4	2	5	2	3	4	2	2	2	
50-54	63	34	29	41	21	20	35	23	12	26	11	15	15	9	6	11	7	5	17	8	9	10	5	4	7	4	3	3	2	1	1	5	2	2	2	
55-59	49	25	24	59	30	29	39	19	20	33	20	12	25	10	15	14	8	10	6	10	6	5	16	7	9	5	4	6	3	3	3	3	2	1	1	
60-64	66	33	33	46	24	21	55	29	26	36	18	18	31	20	11	23	10	13	13	7	5	10	6	4	15	7	8	6	5	4	6	3	2	2	1	
65-69	49	22	27	62	30	32	43	22	21	52	27	25	34	17	17	29	18	11	22	9	12	12	7	5	9	5	4	14	6	8	8	4	4	3	3	
70-74	43	20	23	47	20	27	59	26	32	41	20	21	49	25	33	15	17	27	16	11	21	8	12	11	6	5	9	5	4	13	6	8	6	8		
75-79	56	24	32	35	17	19	39	17	22	49	23	26	34	17	17	41	20	20	27	13	14	22	14	9	17	7	10	9	5	4	7	4	4	3	3	
80-84	37	18	19	38	17	21	24	11	12	26	11	15	33	16	17	23	12	11	27	14	13	18	9	9	15	9	6	11	5	7	6	4	4	3		
85-89	24	10	14	26	15	11	26	14	12	16	10	7	18	10	8	23	13	10	16	10	6	19	12	8	13	7	5	11	8	3	8	4	4	4	4	
90-94	6	3	3	8	4	4	9	6	3	9	6	3	6	4	2	6	4	2	8	6	3	6	4	2	7	5	2	5	3	1	4	3	1	1	1	
95-99	2	0	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
100-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢計	701	357	344	605	308	297	525	267	258	440	223	367	187	180	303	156	147	242	126	116	191	99	92	148	77	71	116	60	56	92	46	46	45	45		
00-14	103	57	46	83	42	41	78	36	42	61	28	32	48	22	26	39	18	21	31	14	17	24	11	13	18	8	10	15	7	8	13	6	7	6	7	
15-64	381	203	178	305	163	142	246	132	113	185	98	87	145	77	67	110	55	54	83	44	40	68	35	34	57	28	29	41	21	20	32	16	16	16	16	
65-	217	97	120	217	103	114	201	98	103	194	97	97	175	87	87	154	83	72	128	68	60	99	53	46	73	40	33	60	32	28	47	25	22	22	22	
(再編)75-	125	55	70	108	52	55	99	48	50	101	50	52	91	46	45	93	49	44	79	42	37	66	38	28	52	29	24	37	21	16	26	15	11	11	11	
00-14	14.7%	16.0%	13.4%	13.6%	13.8%	14.9%	13.6%	13.8%	13.8%	12.6%	15.0%	13.0%	11.9%	14.2%	12.9%	11.7%	14.2%	12.9%	11.5%	14.4%	11.5%	14.4%	12.6%	11.2%	14.0%	12.2%	10.9%	13.6%	13.1%	11.9%	14.5%	14.1%	13.0%	15.3%	15.3%	
15-64	54.4%	56.9%	51.7%	50.5%	53.0%	47.8%	46.8%	49.6%	43.9%	42.1%	44.0%	40.2%	39.4%	41.3%	37.4%	36.2%	35.5%	37.0%	34.4%	34.6%	34.0%	35.8%	35.2%	36.4%	38.6%	36.9%	40.4%	35.3%	35.0%	35.7%	34.5%	33.7%	35.3%	35.3%	35.3%	
65-	31.0%	27.2%	34.9%	35.8%	33.4%	38.4%	38.3%	36.8%	39.8%	44.1%	43.4%	44.8%	47.6%	46.8%	48.4%	50.9%	52.9%	48.8%	52.7%	53.7%	51.6%	51.7%	53.6%	49.6%	49.2%	52.1%	46.1%	51.5%	53.1%	49.8%	51.4%	53.3%	49.5%	49.5%	49.5%	
(再編)75-	17.8%	15.4%	20.3%	17.8%	17.0%	18.6%	18.8%	18.1%	19.5%	23.0%	22.2%	23.8%	24.8%	24.7%	25.0%	30.7%	31.5%	29.8%	32.7%	33.4%	31.9%	34.5%	38.5%	30.3%	35.3%	37.2%	33.2%	31.9%	34.9%	28.6%	26.2%	31.9%	24.4%	24.4%	24.4%	

【推計結果】

（※ 特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク，2018 年、『地域コミュニティの新たなあり方検討報告書』『エリアの将来推計人口ワークシート』より作表）

5. 五島市の概要

五島市は、九州の最西端、長崎県の西方海上約 100 km に位置している、大小 152 の島々からなる五島列島の南西部にある。総面積は 420.10 km²、11 の有人島と 52 の無人島で構成されている。市制については、2004 年（平成 16 年）に福江市、南松浦郡富江町・玉之浦町・三井楽町・岐宿町・奈留町の 1 市 5 町が新設合併して誕生した（五島市 2018）。

平成 27 年国勢調査によると総人口は 37,327 人、5 年前（平成 22 年国勢調査）の 40,622 人からおよそ 3 千人、比率では 8 ポイント減少している。人口の構成比をみると、年少人口が 11.1%、生産年齢人口が 52.0%、老年人口が 36.8% となっており、全国と比べて生産年齢人口が 9 ポイント少なく、老年人口が 10 ポイント多い。同区分の推移をみると、1960 年以降年少人口および生産年齢人口の減少、老年人口の増加が続いている。高齢化率は 5 年間で 3 ポイント、10 年間で 6 ポイント増加と、高齢化が継続的に進展している。高齢化率は全国（26.6%）よりも 10 ポイント、長崎県（29.6%）よりも 7 ポイント多い。高齢化率のうち前期高齢化率と後期高齢化率の比率をみると、それぞれ 15.3%、21.5% を占めているが、全国や長崎県と比べると後期高齢化率が高くなっている。人口動態については、1955 年のピーク以降、人口減少は社会減つまり転出超過を要因としていたが、少子高齢化の進行とともに 2010 年からは自然減が社会減を上回るようになってきている（五島市 2015）。

社人研将来推計人口（平成 30 年推計）によれば、総人口は 2015 年から 5 年ごとに 3,000 人程度減少を続ける。したがって 2025 年に 3.0 万人まで減少し 2045 年には 1.8 万人と 2 万人を割る見込みである。

産業別就業者数は、平成 27 年国勢調査（総数 13,934 人）では第一次産業が 15.6%、第二次産業が 13.2%、第三次産業が 71.2% をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業就業者の割合が 12 ポイント多く、第二次産業が 12 ポイント少ない。

6. 奥浦地区

国勢調査によると、雪浦地区の総人口は 2015 年時点 1,054 人で、5 年前（1,208 人）から 154 人、比率では 13 ポイント減少している。人口分布は年少人口が 8.8%、生産年齢人口が 46.4%、老年人口が 44.8% である。全国また長崎県と比べても、生産年齢人口の比率が 10 ポイント以上少なく、老年人口も 15~18 ポイント多い。人口構成を 5 年前と比べると、60 歳未満の層で全体的に減少が目立つ。高齢化率について、前期高齢化率が 16.6%、後期高齢化率が 28.1% となっており、長崎県、全国と比べると前者はあまり変わらないが後者の比率の差が顕著である。そのほか、15~19 歳から 20~24 歳をコーホートにみても、母数が少ないものの減少幅は 8 割（59 人→11 人）にのぼる。

地域ケア推計人口の値をみると、総人口は 2050 年までは 5 年ごとに 100 人前後の減少が続けている。2020 年には 938 人、2030 年に 715 人、2040 年に 529 人となっている。2050 年の人口分布は、年少人口が 15.1%、生産年齢人口が 44.2%、老年人口が 40.7% と見込まれている。

面積は 6.9 km² で、人口密度が 152.8 人/km² である。世帯数は 492 世帯で 5 年前（548 世帯）から 56 世帯、10.2 ポイントの減少である。全体の人口が減少しながらも世帯数は微増している全国や横ばいの長崎県とは異なる傾向をみせている。

産業別就業者数は、平成 27 年国勢調査（総数 402 人）によると、第一次産業が 18.7%、第二次産業が 13.7%、第三次産業が 67.7% をそれぞれ占めており、全国と比べて第一次産業が 15 ポイント多く、第二次産業が 11 ポイント少ない。

小学校と中学校が 1 校ずつと公民館が 12 館ある（以上、第 17 表、第 5 図、第 18 表を参照）。

第 18 表 エリア情報（長崎県五島市奥浦地区）

エリア名	長崎県五島市奥浦地区
------	------------

	2015年	2010年	増減率	(長崎県)	(全国)
人口(人)	1,054	1,208	▲ 12.7	▲ 3.5	▲ 0.8
うち15歳未満	93	110	▲ 15.5	▲ 8.2	▲ 5.5
15～19歳	35	59	▲ 40.7	▲ 8.7	▲ 0.9
20～24歳	11	14	▲ 21.4	▲ 7.6	▲ 7.1
25～59歳	339	415	▲ 18.3	▲ 9.3	▲ 4.5
60～64歳	103	97	6.2	▲ 4.3	▲ 15.8
65～74歳	175	206	▲ 15.0	12.6	14.3
75～84歳	188	222	▲ 15.3	0.0	9.4
85歳以上	108	85	27.1	24.1	28.8
世帯数(世帯)	492	548	▲ 10.2	0.4	2.9

人口密度(人/㎢)	152.8	175.1	面積(㎢)	6.9
-----------	-------	-------	-------	-----

	2015年	2010年	長崎県	(2010年)	全国	(2010年)
高齢化率(%)	44.7	42.5	29.6	26.0	26.6	23.0
うち前期高齢化率	16.6	17.1	14.1	12.0	13.8	11.9
後期高齢化率	28.1	25.4	15.6	14.0	12.8	11.1

小学校数(校)	1
中学校数(校)	1
公民館数(館)	12

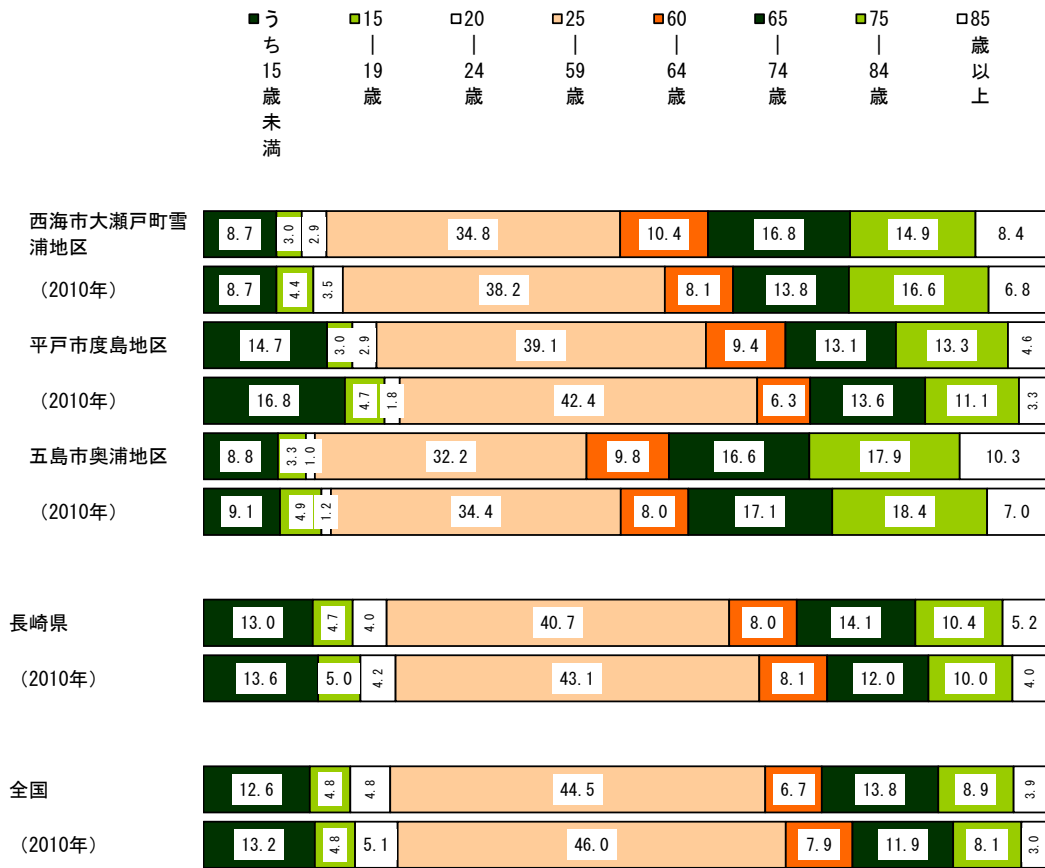
第19表 地域人口推計：長崎県五島市奥浦地区

年齢	2015		2020		2025		2030		2035		2040		2045		2050		2055		2060		2065													
	男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計		男女計													
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性												
00-04	22	14	8	18	12	7	17	11	6	15	10	6	14	9	5	12	7	4	10	7	4	10	6	4	8	5	3	7	5	3				
05-09	35	16	19	34	20	14	29	17	12	27	16	11	24	14	10	21	13	9	18	11	7	16	10	7	15	9	6	13	8	5				
10-14	36	17	19	49	21	28	47	27	20	39	22	17	36	20	15	33	25	14	29	17	13	25	14	11	22	13	10	21	12	9				
15-19	35	16	19	20	9	11	28	11	17	26	14	12	22	12	10	21	9	20	11	9	18	10	8	16	9	8	14	8	6	12	7	6		
20-24	11	4	7	7	2	5	4	1	3	6	1	5	2	3	4	1	3	4	1	3	4	1	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2		
25-29	21	13	8	16	7	9	10	3	7	6	2	4	8	2	6	7	3	5	6	2	4	6	2	3	5	2	3	5	2	3	5	2	3	
30-34	24	12	12	40	26	14	29	13	16	18	6	12	11	4	7	15	4	11	13	6	8	11	5	7	10	4	6	10	4	6	9	4	5	
35-39	29	16	13	27	11	16	43	25	18	33	12	21	22	6	16	13	3	9	18	4	14	15	5	10	13	4	8	12	4	8	12	4	8	
40-44	53	24	29	30	18	12	27	12	15	44	27	17	33	13	20	21	6	15	13	4	9	17	4	13	15	6	9	13	5	8	12	4	7	
45-49	47	25	22	46	21	25	25	15	10	23	11	12	37	23	14	28	12	17	18	5	13	11	3	8	15	4	11	13	5	8	11	4	7	
50-54	73	38	35	50	31	19	47	26	21	27	19	9	24	13	11	41	29	12	29	14	14	18	7	11	10	4	6	14	5	9	13	6	7	
55-59	92	44	48	71	36	35	48	29	19	45	24	21	26	17	9	23	12	11	39	27	12	28	13	14	17	6	11	10	4	6	14	4	6	
60-64	103	53	50	96	51	45	74	41	33	51	33	18	47	28	20	28	20	8	24	14	10	42	31	11	29	16	13	17	7	10	10	4	6	
65-69	89	47	42	95	47	48	88	45	43	68	37	31	46	30	17	43	25	19	26	18	8	22	13	9	38	27	11	26	14	13	16	6	10	
70-74	86	35	51	81	38	43	87	38	40	80	37	44	62	30	32	41	24	17	39	20	19	23	15	8	29	10	10	33	22	11	24	11	13	
75-79	90	34	56	69	27	42	65	29	35	70	29	40	64	28	36	49	23	26	32	18	14	31	15	16	18	11	7	16	8	8	26	17	9	
80-84	98	41	57	75	27	49	57	21	36	54	23	31	58	23	35	53	22	31	41	18	23	27	14	12	26	12	14	14	9	6	13	6	7	
85-89	70	23	47	66	26	40	51	17	34	39	13	25	36	15	21	39	15	24	36	14	22	27	11	16	18	9	8	17	8	9	10	6	4	
90-94	29	9	20	34	12	22	32	14	18	25	9	16	19	7	12	18	8	10	19	8	11	18	7	10	13	6	7	9	5	4	8	4	4	
95-99	8	1	7	11	3	8	13	4	9	12	5	8	10	3	6	7	2	5	7	3	4	7	3	5	7	3	4	5	2	3	3	2	2	2
100-	1	0	1	3	0	3	4	0	4	4	0	4	4	0	4	3	0	3	3	0	3	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
年計	1,054	483	571	938	445	493	825	400	425	715	351	363	612	302	311	529	264	265	452	226	226	385	194	190	327	165	163	280	138	142	244	117	121	
00-14	93	47	46	102	53	48	93	55	38	83	49	34	78	46	32	73	43	30	66	39	27	58	34	24	51	30	21	45	27	19	41	24	17	
15-64	489	246	243	402	211	191	335	176	158	280	149	131	236	120	116	202	102	100	184	88	95	170	82	88	135	56	79	112	44	67	100	40	60	
65-	472	190	281	435	181	254	337	169	228	351	153	199	298	135	163	254	118	136	202	99	103	157	78	78	142	79	63	123	67	56	102	52	50	
(再編)75-	297	108	188	258	95	163	222	85	137	203	79	124	190	76	114	189	70	100	137	61	77	112	51	61	83	41	43	63	31	32	62	34	28	
00-14	8.8%	9.8%	8.1%	10.8%	12.0%	9.8%	13.7%	9.0%	11.6%	13.9%	9.3%	12.7%	15.3%	10.3%	13.9%	16.4%	11.3%	14.6%	17.2%	12.0%	15.1%	17.6%	12.5%	15.5%	18.2%	12.8%	16.2%	19.4%	13.1%	16.9%	20.8%	13.3%	13.3%	
15-64	46.4%	50.8%	42.6%	42.8%	47.4%	38.7%	40.6%	44.0%	37.3%	39.2%	42.5%	36.0%	38.5%	39.8%	37.3%	38.1%	38.7%	37.5%	40.6%	39.2%	42.1%	44.2%	42.1%	46.4%	41.2%	34.0%	48.5%	39.8%	31.9%	47.5%	41.1%	34.5%	47.1%	47.1%
65-	44.8%	39.4%	49.3%	46.3%	40.6%	51.5%	48.2%	42.2%	53.7%	49.2%	43.5%	54.7%	48.7%	44.9%	52.4%	48.0%	44.9%	51.1%	44.8%	43.7%	45.9%	40.7%	40.3%	41.1%	43.3%	47.8%	38.7%	44.0%	48.7%	39.4%	42.1%	44.7%	39.6%	39.6%
(再編)75-	28.1%	22.4%	33.0%	27.5%	21.4%	33.1%	26.9%	21.3%	32.2%	28.4%	22.6%	34.1%	31.1%	25.1%	36.8%	32.0%	26.4%	37.6%	30.4%	26.9%	33.9%	29.1%	26.3%	31.9%	25.5%	24.8%	26.1%	22.6%	22.5%	22.7%	25.9%	29.5%	29.5%	29.5%

【推計推定】
 推計対象地域エリア：長崎県五島市奥浦地区
 留意事項：
 コーホート変化率法(2010-2015の性・年齢5歳別コーホート変化率を活用)による。
 100歳は5年後にはゼロとなることを仮定している等、寿命の伸びは考慮していない。
 00-04歳人口は、2015年の00-04歳人口の、2015年の15-49歳女性人口に対する比率を適用。
 00-04歳人口の男女比は、2015年の比率を適用。
 以上のようなことから、推計値は相当程度の幅をもって受け止める必要がある。

(※ 特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク、2018年、『地域コミュニティの新たなあり方検討報告書』「エリアの将来推計人口ワークシート」より作表)

第5図 人口構成（長崎県西海市大瀬戸町雪浦地区、平戸市度島地区、五島市奥浦地区）



参考資料・URL

○資料

総務省「国勢調査」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク，2018，『地域コミュニティの新たなあり方検討報告書』

○北海道鷹栖町

鷹栖町（鷹栖町建設水道課編集），2011，「鷹栖町住生活基本計画（計画期間：平成23年度～32年度）」

鷹栖町（平成27年度鷹栖町総合戦略策定会議），2015，「鷹栖町人口ビジョン」

鷹栖町（総務企画課企画広報係），2017，「北海道鷹栖町統計資料（平成29年度）」

「鷹栖町ホームページ」（最終閲覧日：2018年7月13日）<https://www.town.takasu.hokkaido.jp>

○三重県名張市青蓮寺・百合丘地区、桔梗が丘地区、名張地区

名張市企画財政部総合企画政策室，2016，「名張市総合計画「新・理想郷プラン」基本構想」

三重県名張市（総務部・情報政策室編集），2017，「名張市統計書（2017年刊行）」

「名張市公式ホームページ」（最終閲覧日：2018年7月13日）<http://www.city.nabari.lg.jp>

○鳥取県智頭町山形地区

鳥取県智頭町，2015年，「まち・ひと・しごと創生 智頭町総合戦略」

智頭町企画課，2017年，「第7次智頭町総合計画 ちづ暮らしの道しるべ 一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」

「鳥取県智頭町ホームページ」（最終閲覧日：2018年7月13日）<http://www1.town.chizu.tottori.jp>

○高知県土佐郡土佐町石原地区

土佐町，2014年，「データで見る土佐町 土佐町勢要覧資料集」

土佐町，2015年，「土佐町人口ビジョン」

「高知県土佐町公式ホームページ」（最終閲覧日：2018年7月13日）<http://www.town.tosa.kochi.jp>

○長崎県西海市大瀬戸町雪浦地区、平戸市度島地区、五島市奥浦地区

西海市市役所，2017年，「西海市市勢要覧（資料編）」

さいかい力創造部政策企画課，2017年「第2次西海市総合計画」

「西海市：トップページ」（最終閲覧日：2018年7月13日）<http://www.city.saikai.nagasaki.jp>

平戸市，2016年，「平成27年度～平成31年度平戸市総合戦略」

平戸市，2018年，「平戸市未来創造羅針盤 第2次平戸市総合計画」

「長崎県平戸市ホームページ」（最終閲覧日：2018年7月13日）

<https://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi>

五島市，2018年，「市勢要覧2018年版」

五島市，2015年，「五島市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」

「五島市公式サイトまるごと」（最終閲覧日：2018年7月13日）www.city.goto.nagasaki.jp

